



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 パルステック工業株式会社

コード番号 6894

URL <https://www.pulstec.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 青野 嘉幸

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長

（氏名） 工藤 孝史

（TEL）053-522-5176

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	1,041	7.2	89	60.8	100	87.7	70	179.4
2025年3月期中間期	971	△2.2	55	△19.7	53	△39.6	25	△66.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 75百万円（821.4％） 2025年3月期中間期 8百万円（△91.2％）

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期中間期	51	83	—	—
2025年3月期中間期	18	55	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		％	円 銭
2026年3月期中間期	4,751		3,788		79.7	2,769.35
2025年3月期	5,029		3,863		76.8	2,823.85

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 3,788百万円 2025年3月期 3,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 特別配当 30円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,650	6.6	350	4.1	343	△3.0	270	△24.2	197.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,393,459株	2025年3月期	1,393,459株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	25,327株	2025年3月期	25,303株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	1,368,150株	2025年3月期中間期	1,368,212株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に回復基調となりましたが、円安、原材料価格・物流コストの上昇などに伴う物価高に加え、米国の関税政策、中国経済の低迷などの課題も山積しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、設備投資意欲は引き続き旺盛であり、引合い案件も増加傾向となりましたが、今後の見通しが困難な経済情勢であることから、設備投資の額や時期については慎重な顧客が多く、依然として厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、X線残留応力測定装置の販売に一層注力するとともに、国内外の展示会や学会等への積極的な出展、ウェビナーの継続開催など、受注獲得に向けて新規顧客の開拓や既存顧客への深耕営業に注力いたしました。

以上の結果、売上高は10億41百万円(前中間連結会計期間比7.2%増)、営業利益は89百万円(前中間連結会計期間比60.8%増)、経常利益は1億円(前中間連結会計期間比87.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は70百万円(前中間連結会計期間比179.4%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(X線残留応力測定装置関連)

装置販売の引合いは引き続き好調を維持しており、納品につきましても概ね順調であったことから、売上高は3億79百万円(前中間連結会計期間比55.8%増)、セグメント利益は1億36百万円(前中間連結会計期間比96.0%増)となりました。

(ヘルスケア装置関連)

受託生産は概ね順調に推移いたしましたが、受託開発の一部が中止になったことに加え、新規受託開発案件の開始時期が先送りされたことなどから、売上高は2億64百万円(前中間連結会計期間比29.4%減)、セグメント損失は13万円(前中間連結会計期間は37百万円の利益)となりました。

(光応用・特殊機器装置関連)

主要顧客からの引合いは引き続き好調を維持しており、納品につきましても概ね順調に推移いたしました。また、前期末に設備投資を完了したクリーンルームにつきましても、半導体製造装置の受託生産を開始し、8月に初号機を出荷いたしました。

以上により、売上高は3億97百万円(前中間連結会計期間比12.4%増)、セグメント利益は99百万円(前中間連結会計期間比0.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて2億77百万円減少し、47億51百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が2億79百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて2億3百万円減少し、9億63百万円となりました。これは主に、賞与引当金が82百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて74百万円減少し、37億88百万円となりました。これは主に、利益剰余金が79百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて13百万円減少し、18億70百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は、2億82百万円(前中間連結会計期間は1億57百万円の使用)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少2億79百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、1億44百万円(前中間連結会計期間は2億46百万円の使用)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1億59百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億52百万円(前中間連結会計期間は1億53百万円の使用)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額1億49百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,952,139	1,922,684
受取手形、売掛金及び契約資産	858,299	578,990
仕掛品	407,103	486,482
原材料及び貯蔵品	366,645	330,261
その他	25,153	15,751
流動資産合計	3,609,341	3,334,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	616,543	603,433
その他(純額)	334,871	365,488
有形固定資産合計	951,415	968,921
無形固定資産	1,533	1,229
投資その他の資産	467,473	447,607
固定資産合計	1,420,421	1,417,759
資産合計	5,029,762	4,751,931
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,462	53,959
電子記録債務	95,876	114,263
1年内返済予定の長期借入金	3,740	1,080
未払法人税等	30,633	12,697
賞与引当金	138,369	55,947
その他	429,240	290,340
流動負債合計	736,323	528,287
固定負債		
退職給付に係る負債	429,970	434,807
固定負債合計	429,970	434,807
負債合計	1,166,293	963,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	1,573,191	1,493,606
自己株式	△166,575	△166,622
株主資本合計	3,827,786	3,748,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,648	19,996
為替換算調整勘定	21,034	20,684
その他の包括利益累計額合計	35,682	40,680
純資産合計	3,863,469	3,788,836
負債純資産合計	5,029,762	4,751,931

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	971,509	1,041,027
売上原価	623,496	632,929
売上総利益	348,012	408,097
販売費及び一般管理費	292,393	318,689
営業利益	55,618	89,408
営業外収益		
受取利息	2,878	5,101
受取配当金	1,583	1,544
売電収入	6,517	7,029
その他	1,858	1,111
営業外収益合計	12,837	14,786
営業外費用		
支払利息	70	14
為替差損	12,319	1,081
売電費用	2,724	2,981
営業外費用合計	15,115	4,076
経常利益	53,340	100,117
特別損失		
固定資産除却損	14,027	0
特別損失合計	14,027	0
税金等調整前中間純利益	39,313	100,117
法人税等	13,934	29,205
中間純利益	25,378	70,912
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	25,378	70,912

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	25,378	70,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,523	5,348
為替換算調整勘定	△5,616	△350
その他の包括利益合計	△17,140	4,998
中間包括利益	8,238	75,911
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,238	75,911
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	39,313	100,117
減価償却費	29,316	40,242
受取利息及び受取配当金	△4,461	△6,645
支払利息	70	14
為替差損益(△は益)	10,915	392
有形固定資産除却損	14,027	0
売上債権の増減額(△は増加)	350,582	279,767
棚卸資産の増減額(△は増加)	△30,978	△42,999
仕入債務の増減額(△は減少)	△326,716	46,711
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87,039	△82,436
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12,710	4,837
その他	△30,773	△44,541
小計	△48,453	295,460
利息及び配当金の受取額	3,886	6,395
利息の支払額	△66	△11
法人税等の支払額	△112,604	△19,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157,238	282,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,118	△52,103
定期預金の払戻による収入	-	67,125
有形固定資産の取得による支出	△175,703	△159,756
無形固定資産の取得による支出	△1,270	-
その他	119	729
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246,972	△144,004
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,160	△2,660
自己株式の取得による支出	△144	△47
配当金の支払額	△148,361	△149,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,665	△152,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,992	△229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△570,869	△13,850
現金及び現金同等物の期首残高	2,267,271	1,884,027
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,696,402	1,870,177

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	241,795	369,369	221,477	832,642
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,779	5,400	131,686	138,866
顧客との契約から生じる収益	243,574	374,769	353,164	971,509
外部顧客への売上高	243,574	374,769	353,164	971,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	243,574	374,769	353,164	971,509
セグメント利益	69,515	37,038	100,322	206,876

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	206,876
全社費用(注)	△150,927
棚卸資産の調整額	△330
中間連結損益計算書の営業利益	55,618

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	378,368	258,405	291,011	927,785
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,061	6,120	106,060	113,241
顧客との契約から生じる収益	379,429	264,525	397,071	1,041,027
外部顧客への売上高	379,429	264,525	397,071	1,041,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	379,429	264,525	397,071	1,041,027
セグメント利益又は損失(△)	136,260	△130	99,664	235,795

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	235,795
全社費用(注)	△153,211
棚卸資産の調整額	6,824
中間連結損益計算書の営業利益	89,408

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	400,656	178.7
ヘルスケア装置関連	314,290	78.8
光応用・特殊機器装置関連	430,452	92.4
合計	1,145,399	105.2

(注)生産高は販売価格で表示しております。

(2) 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	513,718	105.1	416,079	128.8
ヘルスケア装置関連	127,975	55.8	895,357	83.9
光応用・特殊機器装置関連	376,795	78.4	542,887	81.0
合計	1,018,489	85.0	1,854,324	90.0

(3) 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	379,429	155.8
ヘルスケア装置関連	264,525	70.6
光応用・特殊機器装置関連	397,071	112.4
合計	1,041,027	107.2

(注)主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立ハイテク	204,433	21.0	232,928	22.4
東海電子株式会社	131,112	13.5	—	—
栄研化学株式会社	97,158	10.0	—	—